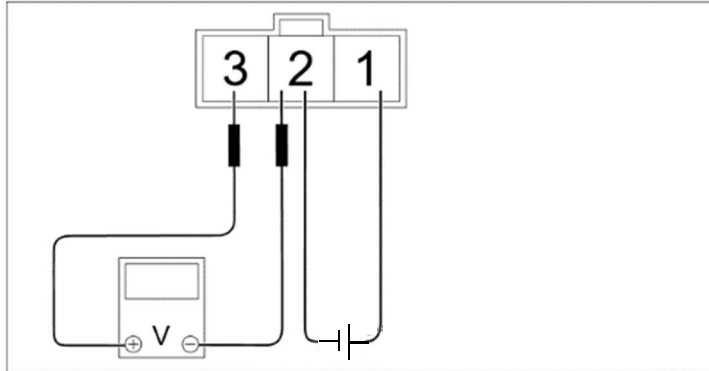


1. バキューム・センサの点検は、下記の要領で実施する。

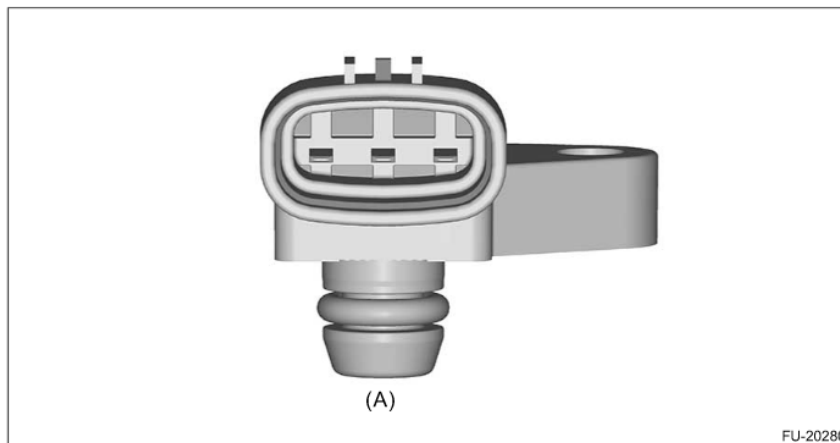
- ① 100V-5V 安定化電源を使用して、端子 1 に 100V-5V 安定化電源のプラス端子が、端子 2 に 100V-5V 安定化電源のマイナス端子がそれぞれ接続されていることを確認し、端子 3 にデジタル式サーキット・テスタのプラス側を、端子 2 にデジタル式サーキット・テスタのマイナス側を接続する。



- ② 大気圧のときの電圧を点検する。

端子番号	基準値
3 - 2	$V \pm 0.5 V$

- ③ バキューム・センサの圧力ポート (A) にハンド・バキューム・ポンプを接続する。



- ④ ハンド・バキューム・ポンプで下表の圧力をかけたときの電圧を点検する。

圧力	端子番号	基準値
-80 kPa	3 - 2	$V \pm 0.5 V$

【問題1】留意事項（2/2）

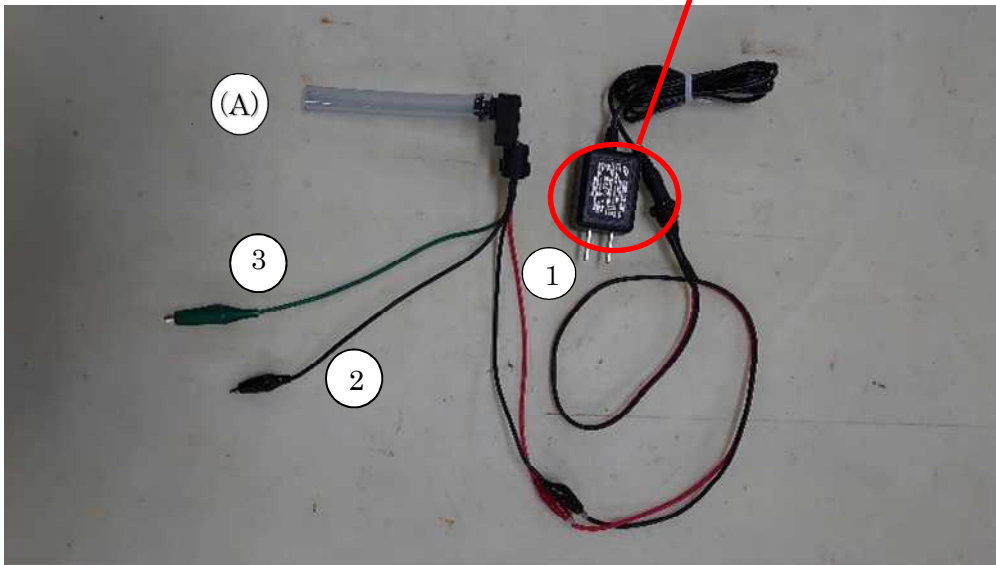
2. バキューム・センサ各端子間の電圧測定には、点検用ハーネスを使用して点検すること。

（下図参照）

※点検作業時は、ハーネスが抜けないように注意すること。なお、作業時にハーネスが外れた場合、受験者が取り付けること。

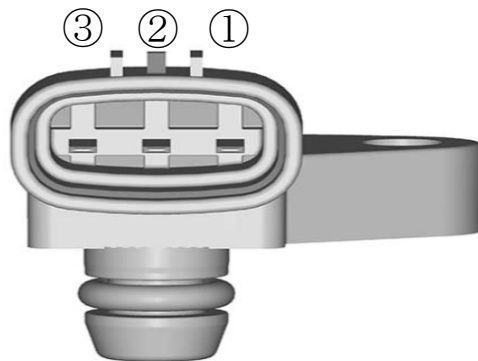
（図）

※100V-5V 安定化電源は、
100V 電源に接続されています。



3. バキューム・センサの端子配列は、下図のとおりである。

（図）



1. コンミテータ間の導通点検

- ・ 基準値：導通があること

2. フィールドコイルの導通点検

- ・ 基準値：導通があること

3. アーマチュアコイルとコア間の絶縁点検

- ・ 基準値：1M Ω 以上

4. フィールドコイルとコア間の絶縁点検

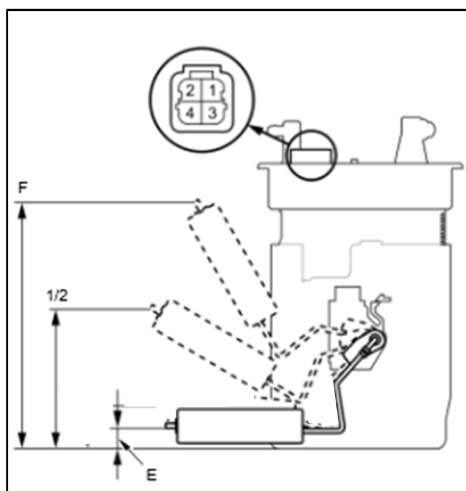
- ・ 基準値：1M Ω 以上

5. 測定位置が複数ある場合は、任意の1個所測定すれば良いこととする。

6. 点検開始前に、どの問の測定個所の点検を行うか採点員に申告し、了解を得てから点検を開始すること。

1. フューエルユニット（フューエル・ポンプ一体型）の端子配列は、下図のとおりである。

（図）



2. 抵抗値の測定の前に、どのフロート位置で測定を行うか採点員に申告し、了解を得てから測定を開始すること。（申告例：フロート位置[F]の測定をします。）
3. 各フロート位置を表示している台付スコヤを用い、抵抗値の測定を行うこと。
4. 点検作業時は、ハーネスが抜けないように注意すること。なお、作業時にハーネスが外れた場合は、受験者が取り付けること。

（裏面へ続く）

【問題3】 留意事項 (2/2)

5. フューエルユニット (フューエル・ポンプ体型) の各フロート位置での基準値は, 下表のとおりである。

フロート位置	基準値 (Ω)
F	~
1/2	~
E	~

